

令和2年度 学校関係者評価報告書

学校法人湖東学園

専門学校湖東カレッジ唐人町校

1 学校関係者評価委員

種別	所属	役職
企業等委員	経済情報出版社	代表（会長）
学識経験者	短期大学	教授
保護者委員	元公立学校	教諭
関係者委員	幼保連携型認定こども園	指導員

2 学校関係者評価

基準1 教育理念・目標

評価項目	学校自己評価	学校関係者委員による評価
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.8	4.0
② 学校における職業教育の特色が明確であるか	3.9	4.0
③ 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.7	3.5
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	3.2	3.0
⑤ 教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.6	3.8

○評価委員からの意見・指導

未来に生きる有為な人材、豊かな人間性と創造性を備えた人材の育成という教育理念は、職業教育を要とする専門学校の教育理念としてふさわしいものである。

学生に具体的な自己目標として意識されるよう、日々の授業や実習などにおいて伝え、自己目標による改善の取組が求められる。特に、留学生に分かり易く伝える必要がある。

基準2 学校運営

評価項目	学校自己評価	学校関係者委員による評価
① 学校運営方針を明確に把握しているか	3.4	3.5
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.2	3.5
③ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.4	3.8
④ 意思決定システムを把握し、それに基づいた運営に従事しているか	3.2	3.3
⑤ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.9	3.0
⑥ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.4	3.5

○評価委員からの意見・指導

学校運営方針は確かなものであり、これを職員に周知・徹底して「理解に基づいた職務の遂行」となるような取組が見られる。また、業務の効率化が、着実に進められている。

全ての職員の希望や適性が生かされる、一人一人の意見が反映されやすいシステムの構築が望まれる。

基準3 教育活動

評価項目		学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.2	4.0
②	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.1	3.8
③	学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.4	3.7
④	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.2	3.5
⑤	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	3.6	3.5
⑥	授業の自己点検、授業研究、相互授業などを実施しているか	3.3	2.8
⑦	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.9	3.7
⑧	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.6	3.5
⑨	教員の能力開発のための研修等が行われているか	2.9	3.0
⑩	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.2	3.3
⑪	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.2	3.0
⑫	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.0	3.2

○評価委員からの意見・指導

授業、実習等、求められる資質・能力を育てるための教育課程が編成され、「アクティブラーニング」の促進など、授業改革にも取り組んでいる。授業の相互参観、学生による授業評価など、授業の改善、向上の取組が求められる。

教職員と学生が、より親近感、信頼感を高め合うため、授業以外の場での相談や交流の場を充実させるとともに、「本学に来てよかった」と学生が思うための条件とは何かを分析し、学生のニーズに合った学校づくりに取り組んでいくことが肝要である。

基準4 学修成果

評価項目		学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	就職率の向上が図られているか	3.4	3.5
②	資格取得率の向上が図られているか	3.6	3.8
③	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.9	3.2
④	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3.2	3.3

○評価委員からの意見・指導

こども学科、こども未来学科の就職率はほぼ100%の良好な状態である。保育士不足の現状も反映されており、将来にわたって教育・保育界から求められる人材を育成する。

国際ビジネス科は、学生のニーズを詳細に把握し、一層の努力を傾ける必要がある。

卒業後の状況を把握し、教育内容、方法の更なる改善が行われるとよい。

基準5 学生支援

評価項目		学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.7	3.5
②	学生相談に関する体制は整備されているか	3.8	3.2
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.4	3.5
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.3	3.5
⑤	学生の生活環境への支援は行われているか	3.3	3.7
⑥	保護者と適切に連携しているか	3.2	3.5
⑦	卒業生への支援体制はあるか	3.3	3.3
⑧	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.4	3.5

○評価委員からの意見・指導

進路、就職支援は、しっかりと行われている。学生に対しては、一人一人を理解し、寄り添う姿勢は見られるが、一層の体制の充実が求められる。

出席が滞りがちな学生に対しては、医学的、福祉的な専門性に基づいた支援が求められる。卒業生が相談にしやすい雰囲気、体制を充実させ、交流を深めたい。

基準6 教育環境

評価項目		学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.9	3.5
②	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.6	3.7
③	防災体制は整備されているか	3.8	4.0

○評価委員からの意見・指導

施設、設備は基本的に整備されている。

新しい図書の充実と、学生が利用しやすい図書室にしていくことが望ましい。

基準7 学生の受け入れ募集

評価項目		学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	学生募集活動は、適正に行われているか	3.8	3.8
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.4	3.5
③	学納金は妥当のものとなっているか	3.8	3.8

○評価委員からの意見・指導

オープンキャンパスやホームページ等を通して学校の魅力の発信が図られている。学生がより親しみやすいパンフレットやSNSの活用など、今の学生にアピールする学生募集をさらに工夫する必要がある。

基準 8 財務

	評価項目	学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.3	3.7
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.6	3.8
③	財務について会計監査が適正に行われているか	3.7	3.8
④	財務情報公開の体制整備はできているか	3.7	3.8

○評価委員からの意見・指導

現在のところ、財務基盤は安定しているが、今後一層少子化が進む中で、他校に無い魅力を打ち出し、学生を確保する基礎を今のうちから確立していく必要がある。

基準 9 法令等の遵守

	評価項目	学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか	3.6	3.9
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.8	3.9
③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.2	3.5
④	自己評価結果を公開しているか	3.4	3.5

○評価委員からの意見・指導

法令や基準が順守され適切に運営されている。個人情報の保護にも配慮されている。

自己評価の結果は公表している。職員間で課題を共有し、知恵を出し合って解決していきたい。

自己目標にとどまらず、第三者評価を行って、客観的な見直しを行うことも検討すべきである。

基準 10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	学校自己評価	学校関係者委員による評価
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.7	3.7
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.2	3.5
③	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.7	3.8

○評価委員からの意見・指導

学校施設を地域に開放するなど、地域に根差した学校となっている。ユーチューブ等を活用した保育講座や子育て講座を実施し、学校の存在感を高めるなどの取組が求められる。また、学生のボランティア体験を見直し、他校に無い有意義でアピール性のあるボランティア活動に取り組むことが課題である。